



すがわら文仁

【略歴】昭和50年7月30日生まれ(41歳) 市立美谷本小学校・美笹中学校卒 県立伊奈学園総合高校卒 日本体育大学卒(教員免許) 明治大学大学院修了(公共政策学修士) 元社会体育会社代表 「地盤・看板・カバン」なしで政治に挑戦 平成17年~23年戸田市議 平成23年埼玉県議会議員に初当選 平成27年再選 会派「無所属県民会議」総務会長 警察危機管理防災委員 経済・雇用対策特別委員 青年地方議員の会会長 埼玉県体操協会副会長 埼玉坂本龍馬会副会長 日本自治体危機管理学会会員 【趣味】読書・史跡巡り・B級グルメ探し 【特技】バク転・のび太並みの早寝 【座右の銘】上杉鷹山翁の「なせば成る、なさねば成らぬ、何事も」 【家族】父・母・妻・娘・息子・愛犬 【夢】努力した者が報われる社会を実現すること 【自宅】戸田市美女木8-21-6

発行 無所属県民会議戸田支部 (菅原文仁)
〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F
TEL/FAX 048-432-3585
HP sugawarafumihito.com
Email mail@sugawarafumihito.com

すがわら文仁最新ニュース

予算特別委員会
38時間徹底審査!



▼費用弁償の改革案を提案!

3月6日(月)、「お手盛り」ともいわれる費用弁償を実費支給に変更する条例改正案を提案しました。総務県民生活委員会では提案者として要旨を説明し答弁いたしましたが、条例改正案は否決されました。

▼知事との質問がマスコミに掲載!

3月21日(水)、予算特別委員会の締めくくりとして知事総括質問に立ちました。上田知事に対する新たな子育て支援策についての質問が埼玉新聞に囲み記事で掲載されました。



▼県予算の討論に立つ!

3月27日(月)、県政史上3番目の大型予算案に対して「賛成」の立場で討論を行ないました。採決の結果、共産党以外の会派の賛同をもって新年度の予算が成立しました。



ご挨拶

1年生の真新しいランドセルが微笑ましい季節、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、お陰様で県議会議員として2期目の任期折り返しを迎えました。

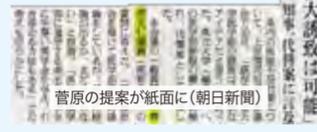
29歳で「地盤・看板・カバン無し」で市政に挑戦し市議として2期6年間、35歳で退路を断って県政に挑戦し県議としての2期6年間、合わせて丸12年の政治経験を積ませていただきました。

初当選からこれまで議会ごとに発行してきたレポートも通算75号目、駅頭活動も約950日間を数えるまでになりました。普段何をやっているのかわからない地方議員のイメージを変えたいと始め

新年度もすがわら文仁の提案が次々と実現へ!

私立医大誘致! 付属病院(順天堂)整備!

平成23年 一般質問
「医師確保対策として
私立医大の誘致を」



実現へ

平成28~29年度 予算
大学附属病院・医学系大学院等整備調整費
63億940万円
浦和美園駅周辺に大学院医学研究科を併設した一般病床800床の総合病院を整備。2020年度内の開設を予定。

小児救急電話相談、24時間体制化!

平成25~28年 予算要望
「#8000の24時間
対応を」

平成23年 一般質問
「深夜帯の相談
時間延長を」

実現へ

平成29年度 予算
救急電話相談運営事業費
3億4230万円
平成29年10月を目途に24時間365日、大人と子供の救急電話相談を実施。



戸田市内に特別支援学校が開設!

平成24~29年度 予算要望
「特別支援学校の教室
不足解消を」



実現へ

平成29年度 予算
自立と社会参加を目指す特別支援学校整備費
6640万円
平成33年4月開校を目指し、戸田翔陽高校敷地内へ知的障害の生徒を対象とした高等部(30教室程度)を設置。

県立高校の部活動備品、予算化!

平成28年 一般質問
「部活動備品を総点検し、適切な予算配分を」



実現へ

平成29年度 予算
運動部活動指導充実支援事業
8310万円
外部指導者を配置し、部活動運営のための専用備品の整備を行なう。



た活動ですが、ここまで継続できたのも皆様と積み重ねた対話、築いた絆に支えられてきたからこそであり心から御礼を申し上げます。

振り返れば当時の先輩議員はほとんどが勇退し、同期の議員はそれぞれ市政の要職に就いています。また過日の市議選で新人議員さんも増えて市政にも世代交代の新しい風を感じています。

県議としての7年目は、埼玉県と戸田市の未来に対する使命感と情熱を燃やしながら、もう一度原点に回帰し虚心坦懐に市民の声を聴く活動に励んでまいりますので、皆様からの率直なご意見やご要望、叱咤激励をお寄せいただきますよう、よろしく願いいたします。

菅原文仁

統計からみる埼玉県と戸田市	総人口(人)	人口増減率(増)	平均年齢(歳)	市町村民所得(万円)	生活保護率(%)	納税率(%)	市町村道舗装率(%)	下水道普及率(%)	犯罪率(件)	人身事故発生率(件)
埼玉県	H28.9 7,281,456	3.0	45.1	285.9	1.3	95.1	70.1	79.7	10.1	4.0
戸田市(議選)	H28.9 136,806	2位 15.6	1位 40.1	1位 376.0	6位 1.7	22位 95.9	1位 99.0	13位 88.9	5位 12.1	25位 4.6

※総人口以外は「統計からみた埼玉県市町村のすがた2017」より引用

重点政策 「希望・活躍・うるおいの埼玉」の実現



人口構造の変化への挑戦
ウエルカムベビープロジェクト
アクティブシニアの活躍支援

強い埼玉県経済
先端産業創造プロジェクト
儲かる農林業の推進

地域の安心・発展
緊急的な治水対策
ラグビーW杯・東京五輪パラリンピックの開催に向けて

埼玉県は、北陸新幹線や北海道新幹線の開通に加え、圏央道の県内全線開通に伴う成田空港との結節により、今後の交通優位性が益々高まります。

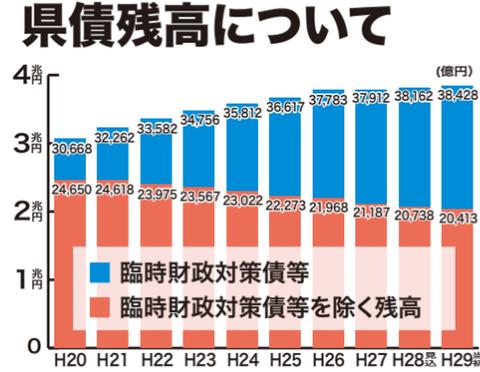
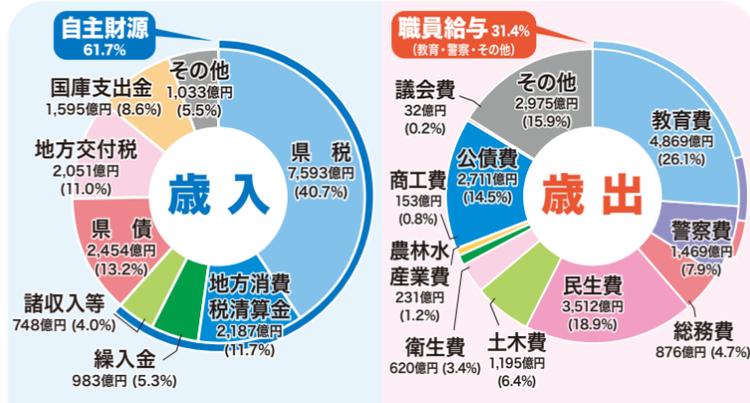
さらに、ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピックの開催など、埼玉県が発展し活性化する好機が近づいています。

しかしその一方で、戦後一貫して増加してきた本県人口も少子化の進展により、間もなく減少することが予想され、その後は全国で最も速いスピードで高齢化も進むことによって、生産年齢人口の減少が加速する見通しです。

こうした環境の大きな変化に適応しつつ、埼玉県の明るい未来を実現することが必要との認識に立ち、平成29年度は、「希望・活躍・うるおいの埼玉」の実現に資する各施策の取組を推進するとともに、限られた財源の中で選択と集中を図ることで、中長期的課題に適応した「未来への投資」といえる事業に重点を置いた予算となっております。

一般会計合計 1兆8,644億2,700万円 前年比↓0.9%
(全会計合計※ 2兆7,371億3,900万円 前年比↓2.6%)

※一般会計、特別会計(13)、公営企業会計(5)の合算



平成29年度当初予算の県債残高は約3兆8,428億円となり、前年度に比べて約266億円増える見込みです。その理由は臨時財政対策債等(青部分)が約591億円増えているためです。臨時財政対策債は、本来国が交付すべき額の不足分を県が借り入れている県債であり、返済費用は国が後年度に全額措置することとなっております。県が主体的にコントロールできる県債残高(赤部分)は平成14年度をピークに減らしてきており、前年度に比べて約325億円減の見込みです。

戸田市 平成29年度 埼玉県予算 主な「道路・河川・上下水道」事業

地元の皆様が安心して市民生活を送ることができるよう、必要な事業や予算をしっかりと獲得してまいります。



教育

県民一人あたり
59,480円
教育局予算:4,336億円



科学技術立県を支える次世代人材育成プロジェクト(新)

世界で活躍できる科学技術分野の人材育成体制を整え、高校生のうちから大学や研究機関と連携しながら本格的な研究に打ち込む機会を通じて、高校生の能力・才能の伸長を促す。

- 教員や生徒が学校の枠を超えてチームを結成
●将来、科学技術分野で活躍し、社会貢献できる人材の育成

拠点校での研修 研究機関での研修
研究者による講義・指導助言や最先端機器を用いた研究・成果報告

運動部活動指導充実支援事業(新)

公立中学校の運動部に部活動支援員配置等の補助や、県立学校の運動部の外部指導者派遣及び部活動専用備品の整備を行う。併せて、全国・関東大会等への派遣費補助等を行い、運動部活動の充実・活性化及び教員の負担軽減を図る。

特別支援学校整備事業(新)

戸田翔陽高校に特別支援学校を整備し、インクルーシブ教育の推進と高校における特別支援教育の充実を図る。

特別支援学校整備予定地
30教室程度
平成33年4月開校予定

総務

県民一人あたり
51,070円
総務部予算:3,723億円



私立学校父母負担軽減事業補助(新)

公私間格差是正のため、年収約500万円～609万円未満世帯に対して補助を新設し、年収約609万円未満世帯まで授業料の実質無償化を実現します。

私立高校の授業料等 実質無償化を拡充!!
H28年 年収500万円未満
H29年 年収609万円未満

税収確保対策(自動車税「納めてプラス」)

自動車税の納期内納税を証する領収書等の提示により、協賛店から割引等優待を受けることができるキャンペーンを実施する。

市町村

県民一人あたり
39,130円
企画財政部予算:2,853億円



駅ホームの転落防止対策(新)

ホームドア設置を促すためのモデル事業に加え、補助制度を新たに創設する。(西川口他)

また、ホームドアが未設置の駅について、内方線付き点状ブロックの整備を促進するとともに、駅での声かけ・サポートの活動を支援し、駅ホームの安全対策を促進する。

ホームドア(和光市駅) 内方線付き点状ブロック

県民一人あたりの予算の使われ方

今年度、私が注目する施策です。皆様の大切な税金の使い道を分野(部局)ごとにご説明します!

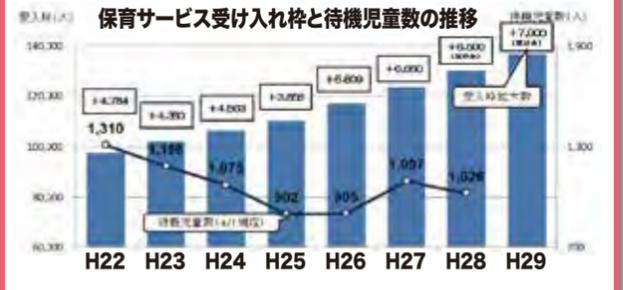


福祉

県民一人あたり **30,410円**
福祉部予算: 2,217億円

▶ 保育所待機児童対策の推進

保育所等の待機児童を解消するため、認可保育所の整備のほか、企業や幼稚園と連携するなど多様な保育サービスを拡充し、7,000人分の受入枠の拡大をはかります。



▶ 多子世帯応援クーポン事業

多子世帯の育児にかかる身体的・精神的負担を軽減するため、第3子以降が生まれる世帯に子育てサービス等を利用できるクーポンを配布し、市町村がこれに上乗せして実施する給付事業に対し助成を行う。

▶ 特別養護老人ホーム等の整備促進

特別養護老人ホームの創設及び増床を促進するため、整備を行う社会福祉法人に対し整備費を補助する。平成29年度は県補助事業分として、25施設2,032人分が完成する予定。

保健医療

県民一人あたり **25,000円**
保健医療部予算: 1,822億円

▶ 救急電話相談の充実

急な病気やけがに対する県民の不安に答え、救急医療機関の負担軽減を図るため、大人の救急電話相談#7000と小児救急電話相談#8000について、看護師による相談を24時間365日受けられる体制を整備する。併せて全国共通ダイヤルとして普及が見込まれる#7119からも相談できるようにする。



▶ 救急医療体制の充実

緊急性の高い救急患者が、一刻も早く適切な医療機関で診療が受けられるよう、断らずに受け入れる救急医療機関を整備することなどにより、搬送困難事象の解消を図り、県民が安心して暮らせる環境を整備する。

▶ ウェルカムベビープロジェクト

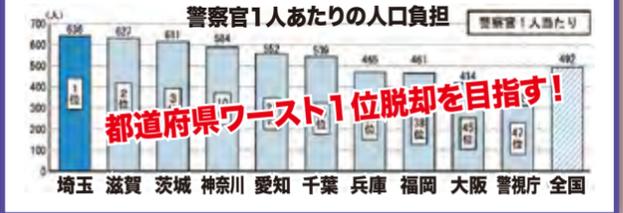
若い世代に対し、加齢による妊娠率の低下や妊娠・出産に係るリスクの増加等の正しい知識の普及啓発を行うとともに、子供を望む夫婦に対し、早期の不妊検査・不妊治療を受診する意識の向上及びきめ細かな支援により不妊検査費等の負担軽減を図る。

警察

県民一人あたり **20,150円**
警察本部予算: 1,469億円

▶ 警察官の大幅増員

県民の生活に大きな不安と脅威を与える犯罪等の警察事象に的確に対処するため、警察官を64名増員し、安全で安心して暮らせる埼玉県を実現します。



道路河川

県民一人あたり **12,210円**
県土整備部予算: 890億円

▶ オリンピック・パラリンピックに向けた道路標識の改善

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、外国人旅行者がわかりやすい英語表記、ピクトグラム・反転文字を活用した道路案内標識など改善を推進する。平成29年度は、道路案内標識の交換14基及びシール貼り120基を実施する。

▶ 通学等の安全を実現する歩道整備

埼玉県における平成28年の交通事故死者は151人で全国ワースト7位。歩行者の安全確保に効果的な、歩道整備を進める。平成29年度は、79箇所の歩道を整備する。

都市整備

県民一人あたり **4,190円**
都市整備部予算: 305億円

▶ 埼玉住まいる子育て応援プロジェクト

多子世帯等への新築中古住宅取得・リフォームの助成を行うとともに、平成28年度から4年間で若年の低所得世帯向けに県営住宅を2,000戸供給する。平成29年度はこのうちの440戸を募集。また、県営住宅の建て替えにより生み出した用地を活用し、子育て支援施設等の整備・運営を行う民間事業者を公募する。

▶ ラグビーワールドカップ2019に向けた会場整備

熊谷ラグビー場を改修し、ラグビーワールドカップ2019の開催に必要な諸施設を整備する。平成29年度は新メイン・サイドスタンド工事と既存スタンドの改修を行う。

農業

県民一人あたり **3,170円**
農林部予算: 231億円

▶ 狭山抹茶振興モデル事業

捨てていた二番茶葉を有効活用するため、国内外で需要が拡大している抹茶の埼玉県における生産技術を確立・普及等することにより、意欲的な生産者を後押しし、儲かる経営を支援する。

産業

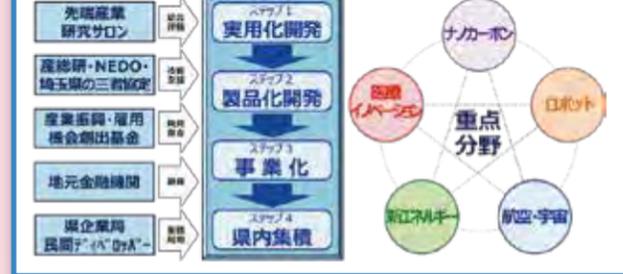
県民一人あたり **2,890円**
産業労働部予算: 211億円

▶ 企業「シニアの働く場」の拡大

元気なシニアが意欲や希望に合わせて働き、生き生きと活躍できる社会を構築するため、シニア活躍推進宣言企業のフォローアップと拡大や70歳雇用推進助成金の創設など、企業におけるシニアの「働く場」を拡大する。

▶ 先端産業創造プロジェクトの推進

今後の成長が見込まれるナノカーボン・医療イノベーション・ロボット等、先端産業分野の実用化、製品化、事業化を一貫して支援することにより、先端産業の育成・県内集積を図るとともに、試作品等の性能評価を行う実証フィールドを産業技術総合センター内に整備する。



環境

県民一人あたり **1,370円**
環境部予算: 100億円

▶ エコタウンプロジェクトの拡大

展開エコタウンで既存住宅を太陽光発電などの創エネと徹底した省エネによってスマートハウス化を推進する。また、民間事業者と協働して、小規模な既存住宅街区をミニエコタウン化する取り組みを県内各地に拡大する。

くらし

県民一人あたり **1,260円**
県民生活部予算: 92億円

▶ 東京オリンピックに向けた選手育成

国体などで埼玉県代表として活躍し、オリンピック出場が期待できる選手を総合的にサポートする。

▶ 青少年の非行防止対策

地域の幅広い人材が声かけを行う非行防止パトロールや企業や団体等での体験等を通じて社会性を身につけさせる場所づくりなど少年の非行化と立ち直りを支援する。

防災

県民一人あたり **710円**
危機管理防災部予算: 52億円

▶ 防災学習拠点事業

埼玉県防災学習センターは、開館から20年以上経過し、展示機器等が老朽化したため、リニューアルする。

公営企業会計

県立病院

病院局予算: 680億円

▶ 高度・専門医療の機能強化

県立循環器・呼吸器病センター新館整備 (平成29年3月末オープン)

上水道

企業局予算: 1,129億円

▶ 浄水場備蓄施設整備事業

震災時の応急給水として、地域防災計画で定める約700万人1週間分の水を確保するため、大久保浄水場、庄和浄水場及び行田浄水場に備蓄施設を整備する。

下水道

下水道局予算: 817億円

▶ 下水道施設の老朽化対策の推進

本県の流域下水道は、施設の老朽化が進行している。重大事故の防止と予算の平準化を図るため、下水道施設の計画的な改築を行う。荒川水循環センターの汚泥かき寄せ機の改築や市野川水循環センターの中央監視設備の改築など。

※「予算総額」は億単位まで、「県民1人あたりの金額」は予算総額を埼玉県人口「726万人」で除算し、10円単位まで表記しています。上記の金額はあくまで目安ですのでご了承ください。

知事提出議案の主な内容

知事提出議案は、平成29年度埼玉県一般会計予算をはじめ71件あり、64件が原案通り可決され、継続審査となっていた「5か年計画の策定」を含めた6案が修正可決、人事案件1案が継続審査となりました。

無所属県民会議は、6件の修正された部分に反対し、他の全ての議案に賛成しました。

県政史上類を見ない修正に反対！

賛成 埼玉県5か年計画の策定(原案) **可決**

反対 埼玉県5か年計画の策定(自民修正案) **可決**

県行政の最上位の計画である五カ年計画について、議会の議決事件と定める条例の規定に基づき議決するもの。

自民の修正案に反対した主な理由

- ①本来、政策目的も対策も異なる「エネルギー政策」と「地球温暖化対策」を混同して計画を立てている。
- ②テクノグリーン構想から約30年間にわたり期待を寄せられていた「北部地域振興交流拠点」が地元への説明も一切なく削除された。
- ③行政の内部管理手法にまで影響を与えるローリング手法や職員一人一人と事業目標のひも付け、重点推進課題などの追加を知事部局との調整もなく修正している。

私は議会が主体性を発揮する事に異論はありません。むしろ推進すべきだと思っています。しかし知事の持つ「執行権」に過度に介入するような修正は、厳に慎むべきです。

今回の修正案は、会派間の調整もなく、全会一致への努力は一切ありませんでした。また、県庁側との事前の調整もなく、客観的裏付けの乏しい数値目標を掲げ、県庁が地元と長年にわたり積み上げた事業を突然削るなど、理解に苦しむものが多数ありました。

これで影響を受けるのはほかでもない埼玉県民です。

コンセンサスを得ることなく非現実的な命令を行えば官僚機構は停止します。現場を混乱させるような今のやり方は、間違った改革、悪い政治主導になっていると思います。



▲平成28年8月30日(埼玉新聞)
新たな5か年計画(原案)には、会派が提出した要望事項が随所に盛り込まれています。

議員提出議案の主な内容

議員提出議案は、「費用弁償等に関する条例の改正」をはじめ7件あり、6件が可決し1件が否決されました。

無所属県民会議は1件の条例案、1件の意見書に反対し、他の全ての議案に賛成しました。

費用弁償条例、またも否決！

賛成 費用弁償に関する条例の一部改正 **否決**

距離に応じて1日あたり6000円から1万2000円が定額支給される費用弁償の額を実費支給方式に改正するもの。

条例改正案を提案した理由(提案説明の抜粋)

議員の交通費である費用弁償は本来、現実に要した「実費」を対象として支給すべきだが、現在は距離に応じて1日あたり、10km未満が6,000円、50km未満が8,100円、50km以上が10,200円の「定額支給方式」であり、例えば議員が県庁の隣に住み、徒歩で登庁した場合でも1日6,000円が支払われる。

平成27年度に支払われた年間額は、議員一人当たりでは、最低252,000円から最高734,400円が支払われている。また議会全体では、年間で総額48,448,500円の費用弁償が支払われている。

今回の改正案は、平成27年6月に続き、再度提案させていただくもので「一般職員の例により支給する」と改めるものだ。

全国では、大阪府議会において既に廃止され、隣の東京都議会でも2月22日に廃止された。神奈川県および千葉県議会も、実費支給方式のため、近県において定額支給方式を続けているのは埼玉県議会のみとなった。

財政状況は厳しさを増し、今後も少子化・高齢化に伴ってますます県の行政サービスの需要が増加することは明白である。我が埼玉県議会も、議会改革を求める県民の声に正面から向き合い、議員自らが襟を正す時が来ている。

総務県民生活委員会では、自民会派より「議員処遇に関しては、より多くの会派の賛同、協力が必要」などと反対理由が述べられました。

しかし、本年2月24日に議会改革を会派間で協議するための特別委員会の設置が提案されたものの、自民会派からの反対により設置自体が否決されており、反対理由は成立しません。

また「47都道府県中、36の都道府県が定額または、定額に実費を加えて支給している。定額方式が一般的なので反対」とも述べています。

しかし、実費支給方式は神奈川、千葉といった首都圏、愛知や兵庫県議会など、比較的人口が多く交通網が発達している議会を採用されています。議員報酬や政務活動費を首都圏と同水準としながら、費用弁償だけを全国水準に求めるのは、まさにダブルスタンダードと言わざるを得ません。

さらに「実費支給は事務作業が煩雑なので定額支給が合理的」と述べましたが、議会事務局は「事務作業量が初めは多少、増えるかも知れないが、さほど変わらないだろう。」との見解を示しており、これも印象操作に過ぎません。

私が提案した改正案は、「定額支給」を「実費支給」へと改める極めて単純明快な条例改正であり、試算では年間4000万円以上の財政効果が見込めます。

このままでは「埼玉県議会の常識は世間の非常識」と言われても仕方ありません。今後も県民感覚とかけ離れた支給実態を一刻も早く改善するよう、強く求めていきたいと思っています。

一行日記

1月(睦月)

- 1日(市内)神社挨拶回り
- 2日(市内)町会新年会
- 4日(市内)町会新年会
- 5日(さいたま市)歯科医師会新年会
- 6日(市内)戸田市賞詞交歓会
- 7日(市内)町会新年会
- 8日(市内)町会新年会
- 9日(市内)成人式
- 10日(市内)戸田市商工会名刺交換会
- 11日(県議会)団会議
- 12日(市内)青年会議所新年会
- 13日(市内)PTA新年会
- 14日(市内)町会新年会
- 15日(市内)身体障害児者を守る親の会
- 16日(市内)事務所用務
- 17日(市内)訪問市民相談
- 18日(市内)町会新年会
- 20日(市内)神社新年会
- 21日(市内)町会新年会
- 22日~28日(市内)戸田市議会議員選挙応援
- 29日(市内)戸田市議会議員選挙開票
- 30日(市内)事務所用務
- 31日(県議会)会派予算説明会



2月(如月)

- 1日(市内)事務所用務
- 2日(市内)地域訪問相談
- 3日(市内)知事とことん訪問同行
- 4日(さいたま市)県医師会新年会
- 5日(市内)町会新年会
- 6日(市内)商店会新年会
- 7日(川越市)福祉保健医療常任委員会視察
- 8日(市内)地域訪問相談
- 9日(千代田区)医療政策勉強会
- 10日(市内)荒川南部下水道事務所要望活動
- 11日(市内)美笹地区町会長新年会
- 13日(県議会)予算特別委員会
- 14日(市内)荒川水循環センター説明会
- 15日(県庁)知事昼食会
- 18日(市内)地域訪問相談
- 19日(市内)コンパル20周年記念式典
- 20日(県議会)本会議2月定例会開会
- 21日(県議会)予算説明会
- 22日(県議会)予算説明会
- 23日(県議会)福祉保健医療関係議案調査
- 24日(県議会)代表質問
- 25日(市内)県政報告会新春の集い
- 26日(市内)事務所用務
- 27日(県議会)代表質問
- 28日(県議会)一般質問



3月(弥生)

- 1日(県議会)一般質問
- 2日(県議会)一般質問
- 3日(県議会)予算関係議案調査
- 5日(市内)ソフトボール開会式
- 6日(県議会)福祉保健医療常任委員会
- 7日(県議会)予算関係議案調査
- 8日(県議会)公社事業対策特別委員会
- 9日(県議会)予算特別委員会(部局審査)
- 10日(県議会)予算特別委員会(部局審査)
- 11日(市内)あいパルフェスタ
- 13日(県議会)予算特別委員会(部局審査)
- 14日(県庁)オリパラ聖火リレー副知事要望
- 15日(県議会)予算特別委員会(部局審査)
- 16日(県議会)予算特別委員会(部局審査)
- 17日(県議会)予算関係議案調査
- 18日(市内)事務所用務
- 19日(市内)学童保育開所式
- 20日(市内)事務所用務
- 21日(県議会)予算特別委員会(総括質問)
- 22日(県議会)予算特別委員会(討論)
- 23日(さいたま市)会派政策勉強会
- 24日(県議会)本会議委員長報告
- 25日(市内)市体育協会表彰式
- 26日(市内)町会総会
- 27日(県議会)本会議2月定例会閉会
- 30日(市内)地域訪問相談



編集後記

お手盛り」とも称される議員の交通費を実費支給とする条例改正案が、過半数を持つ一會派のみの反対により、またも否決されてしまいました。(民進、公明、県民、共産、改革は賛成)

埼玉県も都議会と同じように「ドン」によって県政が歪められているように感じます。議員個人としては素晴らしい方が多く、特に若手は志も高い方ばかりなのに、集団となると結論が変わってしまうのは本当に残念でなりません。

権力者を恐れて発言しない、あるいは忖度して自分の信念すら曲げて行動するような議員ばかりでは、健全な民主政治と言えるはずありません。

過半数という分厚い壁が立ちばかり、議会改革の道の険しさを感じていますが、怯むことなく何度も正論を言い続け、県議会の重たい扉をこじ開けたいと思います。

これからも、「県民にとって何が最善か」を最優先に、一党一派に偏らない県民本位の立場を貫きたいと思っています。

～最後までお読みいただきありがとうございました～